



おおくす

一般社団法人 巨樹の会
新武雄病院

2019.06
Vol.21

武内町「馬場の一本桜」にて

Contents

院長のご挨拶 赴任して1年・・・1～2

ちょこっとリハ “嚥下機能～飲み込みの機能～” ・3

入職式・オリエンテーション/カンボジア研修 ・4

臨床心理士コラム ・・・・5

健診案内 ・・・・6

武雄市観光案内/理念・基本方針

赴任して1年、 宜しくお願いいたします。

新武雄病院 院長 藤田 博正 先生

新武雄病院に赴任して1年が経ちました。毎日朝5時半に起き、久留米から車で1時間かけて通勤しています。友人達からは大変だねと言われますが、東京では通勤に1時間かけるのは普通です。毎朝のドライブをマイペースで楽しんでいます。

武雄市は人口5万人。私が生まれ育った四国の町とほぼ同じ大きさです。私は久留米大学定年退職後、故郷の病院で働きたかったのですが、妻が久留米で耳鼻科医院を開業したため、やむを得ず九州にとどまり、池友会・巨樹の会にお世話になりました。定年後の5年間は福岡和白病院に勤務し、昨年3月から新武雄病院にお世話になることになりました。故郷の四国の人々に尽くすつもりで働きたいと考えています。

新武雄病院に限らず、池友会・巨樹の会の病院は、「24時間、365日、患者を断らない医療」を実践しています。このことは「言うは易く行うは難し」です。これを実践するためには、あらゆる職種が当直し、いつでも血液検査からCT、MRIまで全ての検査が行え、ほとんどの疾患に対し外来でも入院でも診療できる体制が必要です。医師の多くは使命に燃えています。おそらく患者を断る医師はいないでしょう。しかし、医師だけでは診療はできません。すべての職種が、「24時間、365日、患者を断らない医療」を目指していなければ、このモットーを実践することはできません。新武雄病院を含め池友会・巨樹の会の病院は、長い時間をかけてこの体制を築き上げてきました。一朝一夕にできるものではありません。他の病院が始めようとしても容易にできるものではありません。いわゆる「企業風土」あるいは「企業文化」というものはその組織の歴史に根ざしています。医師は自分の専門分野だけでなく、幅広い知識と経験に基づいて全身管理や救急対応が可能です。検査技師も血液検査から心電図検査や超音波検査まで可能です。放射線技師もX線検査だけでなくCT、MRIの操作を行うことができます。看護師や事務職員も同様に、何役もこなしながら当直日直業



専 門：食道外科、消化器外科
出身大：慶応義塾大学（S47卒）
資 格：
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器学会専門医・指導医
日本胸部外科学会指導医
日本食道学会食道科専門医
日本がん治療認定機構がん治療認定医

務を行っています。これはまさに有名な諺にあるように「Specialist must know everything of something, something of everything. (専門家は自分の専門のことは全て、専門外のこともある程度知っていなければならない)」、否それ以上に「Specialist can do everything of something, something of everything.」と言えるでしょう。素晴らしいことです。



武雄市周辺はご多聞にもれず高齢化が進み、人口が減少しています。それに伴い国や県は病床数を減少させようとしています。医師の高齢化、看護師をはじめとするメディカルスタッフの確保が困難であるため有床診療所は次々と閉鎖され、病床数の自然減少が国や県の目標を上回っている状態です。この地域には、公立の総合病院（デパートや大型スーパー）、新武雄病院のような救急病院（コンビニやミニスーパー）、回復期病院、終末期を担う介護型病院、単科の開業医（個人商店）があります。将来、病院や医院の数は減少し、総合病院1つ、救急病院1つ、そしていくつかの開業医の医院に集約されると思われます。生死を分ける医療を担う救急病院は、救急車で30分以内に往復できる地域に必ず1つは必要です。これは、どんな地域にも生活必需品を扱うコンビニやミニスーパーが必要なのも同じです。

しかし、地方で救急病院を維持することは医師やメディカルスタッフの確保の面で大変な困難を伴います。新武雄病院の職員の皆さんは、武雄市民の命を守る使命を果たすための宝物です。使命に燃える職員を確保し、その職員が働きやすい職場にすることが私の使命であると考えています。





ちよこっとリハ “嚥下機能～飲みこみの機能～”



加齢や病気により食物を摂る能力が低下して、QOL（生活の質）の低下を招く方が増えています。今回は言語聴覚士からのちよこっとリハをご案内します。

四季折々の旬物や、自分の好きな食べ物をいつまでもおいしく食べることが出来るよう、“嚥下機能～飲みこみの機能～”の維持が大切です。

前回は口腔顔面の運動を中心とした“嚥下体操”をご紹介したため、今回は飲みこみの筋力訓練として“シャキア訓練”“嚥下おでこ体操”をお伝えします。テレビを見ながらでも実施できるので、毎日のながら体操として導入してもらおうことで、いつまでも安全に食を楽しむ一助となればと思います♪

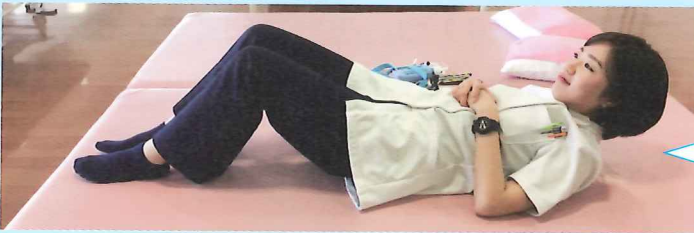
【シャキア訓練】

注意事項

- ・高血圧の方は注意が必要です。
- ・息を止めず吐きながらを意識させる事。



枕をはずし仰向けに寝る！



自分のおへそを覗き込むように頭だけ挙げる！
腰が痛い人は膝を曲げてもいいですよ！

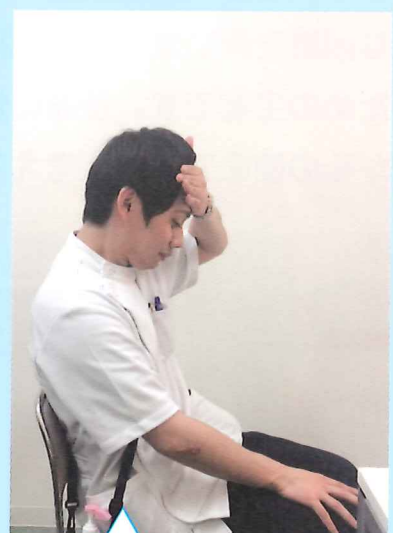
【嚥下おでこ体操】



おでこを手の平で抑える



手の力に負けないように自分のおへそを覗き込む



自分ひとりでもできます

さあ！この体操で飲み込みの筋肉を鍛えていつまでも口から食べる事を楽しみましょう♪



『入職式』・オリエンテーション

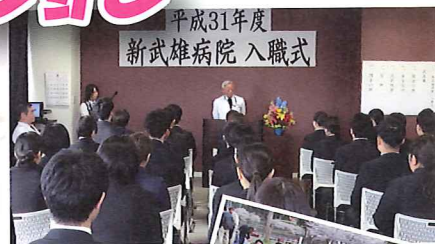
4月1日、平成31年度 入職式を行いました。

今年度当院は、医局6名、看護部27名、医療技術部20名、事務部4名の総勢57名の新入職員を迎えました。

今年は4月1日の入職式、オリエンテーション終了後に“花見会”を行いました。当日は、冷たい風が吹いて気温も低くなり、凍える寒さの中での“花見会”となりましたが、花見会場の桜は満開で見頃を迎えており、とても美しく咲いていました。今年の“花見会”も、新入職員と職員が職種の枠を超えて交流でき、凍える寒さも忘れるような大いに盛り上がった会となりました。

今年度も「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」の理念のもと、地域の患者様に信頼される病院作りに励んでいきたいと思ひます。

(情報企画室：的場 美紀子)



カンボジア研修レポート

新武雄病院 研修医 下河辺 堯



2月21日から28日までカンボジア研修に行かせていただきました。

カンボジアで外来・手術・訪問診療などを見させていただきました。まだ日本でも小児科を研修として回ってなく、医師になってから初の小児科研修でした。日本の診療環境とは大きく違い色々なことに衝撃を受けました。

中でも外来患者の犬・猫咬傷の多さに驚きました。訪問診療の時に感じたのですがカンボジアの家庭には絶対といっていいほど犬が飼われていました。その犬は狂犬病などの対策はとられてない為、カンボジアは狂犬病がとても多い国だそうです。しかしアンコール小児病院のおかげで犬に噛まれたあとワクチンを接種するようになりシェムリアップ周辺の狂犬病発症は減少しているそうです。このことからAHCの地域の医療問題に対する重要性がとても感じられました。手術も積極的に行われており、気道狭窄・鼠径ヘルニア・陰嚢水腫など一日に多くの手術が行われていました。医療機器なども日本と比べると多く揃っていない状態での手術が多かったですが、必要最小限の物資で工夫しながら手術を行っており、ただただ勉強になりました。まだまだ衛生環境も整ってない中でAHCの栄養指導・清潔指導は今後の子供たちの成長で大変重要でありそのための支援を継続していきたいと思ひました。



初夏は疲れがでやすい時期ですよ!

4月に仕事内容や環境が変わって慣れるのにいつも以上に気がつかってしまったり、温かくなったり冷え込んだりと温度差に体が疲れてしまったり、気合でがんばりつづけてしまったり。頑張った時には休息も意識的に取る必要があります。自分自身をケアすることも大切です。

自分自身のケアには何が必要でしょうか？

自分自身のケアに必要なこと

- ①ストレスに気づく
- ②ストレスに対処する
- ③生活習慣に気をつける
- ④必要なときには相談する



①については眠れているかどうかポイントです。②についてはストレスから離れてみたり、楽しいことをして発散したり。③の生活習慣はストレスケアの基本になります。納豆をとることでストレスケアにつながります。④については身近な人や相談窓口の利用などもあります。人に思いを吐き出すことで気持ちが軽くなることも多いんですよ。

新武雄病院職員向けに第2・4火曜日の13時～16時までには臨床心理士によるご相談を受けつけております。たいしたことでもなくても大丈夫です。話したことは守秘義務によって守られます。どうぞご利用ください。

こころの健康クイズ



次の内容は○か、×か？

- (1) 「こころの病」の最も多い年代は20代以下の若者である。
- (2) うつ状態やうつ病には、からだの変調は生じない。
- (3) 寝ている途中で目が覚める、熟睡できない状態が続いていても、いずれは解消すると深刻にならないことが重要である。
- (4) 食事を1日3食規則的に取ることは、こころの健康維持にも役立つ。
- (5) 職場のストレスは、個人では解決できない。
- (6) こころの問題で勤務できなくなったら、職場をやめるしかない。
- (7) うつ状態やうつ病はこころの問題なので、周囲の人が気づくことができない。
- (8) 私はこころの病気に絶対にならない。

解答：(1)○自殺率も高くなっています。(2)×痛みや不調からはじまることもあります。(3)×睡眠の乱れは早く対処することが必要です。(4)○毎日の積み重ねが大切です。(5)×厚生労働省は、職場での個人の受けるストレスを改善して働きやすい職場づくりを求めています。(6)×回復するまでお休みをとることができます。(7)×表情が違ったり、ミスが増えたり、必要以上に自分を責めたり、遅刻増えるなど気づくサインがあります。わからないときは相談をご利用ください。(8)×誰もがかかり得る病気です。

(臨床心理士：川原 慶子)

人間ドックのご案内

年に1回は自分の身体の事を知り、健康管理に努めましょう!!

みなさんは、自分の身体の事をどのくらい御存じですか。
自分は大丈夫。その油断が危険信号です。「がん」「心臓病」「脳卒中」といった生活習慣病は、長い年月をかけ進行するものがほとんどです。
自覚症状が現れてからでは手遅れになる事もあります。まずは、健康診断を受け自分の身体を見つめなおしましょう。

※健康保険を利用しての受診は出来ません。



予約から健診までの流れ(当院は**完全予約制**です)

お申し込み

受診希望日の2~3週間前までに
お申し込み下さい。

胃の検査をご希望の方は、胃カメラか
胃透視(バリウム)を選択して下さい。



書類送付

ご予約後、コースに合わせた
問診票などの関係書類を
お送りします。

[中身をしっかりとご確認ください。]



健診当日

事前に送付した書類に記入し、
検体・保険証をご持参の上、
当院健診室までお越し下さい。
受付後、検査へご案内致します。



主な健診コース ※健康保険証はご利用できません。

- 人間ドック(日帰り・宿泊)
- 脳ドックコース
- 生活習慣病予防健診
- 健康診断

詳しくは健診室までお問い合わせ下さい。

追加オプション検査

- 脳検査
- 腹部超音波
- 大腸内視鏡
- 胸部CT検査、喀痰検査
- 胃内視鏡(カメラ)
- 子宮頸がん検査
- 胃透視(バリウム)
- 腫瘍マーカー(前立腺)
- 骨塩定量検査
- 乳房超音波
- 乳房マンモグラフィー
- PET・CT検査(福岡和白画像診断クリニックで行います)

ご予約・お問い合わせ

なっとく ドックに

☎ 0120-791092

受診日/月曜日~土曜日(日・祝日は休診)
お気軽にお問い合わせください

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 ・TEL/0954-23-6444(直通) ・FAX/0954-26-8193(直通)
・E-mail/kenshin@shintakeo-hp.or.jp

武雄市観光案内

「武雄温泉春まつり」



★武雄市のオススメ★

毎年恒例の武雄温泉春まつりが平成31年3月31日に開催されました。今回は「平成最後の春祭り」でオープニングセレモニーとして2019年度中学生になる武雄市内の子どもたちをメインに会場に来られた方々でバルーンリリースをし、武雄市のランドマークである武雄温泉楼門の朱色と桜山の満開の桜のピンクと色とりどりのカラフルな風船がとてもきれいで華やかな開幕となりました。

春まつりでは、新1年生になるかわいい子どもたちの稚児行列や柄崎太鼓の力強い演奏、武雄市の皆さんが飾り神輿を担いで町を練り歩いたり、長崎県から武雄市初の「変面ショー」にダンスとステージイベントも盛り沢山で、同時に開催されていた「さくら市」・地元の中学生や高校生のボランティアの子どもたちや武雄市民の方、婦人会の皆さん、武雄市外からお越

しの方々に武雄温泉音頭をみんなで大きな輪を作り踊ったりと、お天気も良く多くの方で賑わい楽しい春まつりとなりました。

前日には宵まつりが行われ『劇団御船座』では武雄市長も出演されていたり、会場内はたくさんの笑い声と拍手で包まれていました。2日間にわたって「オール武雄」の元気溢れる武雄市の楽しいお祭りが開催されていましたよ(^^)もしよろしければ来年は、みなさんも春の訪れを武雄温泉春まつりで感じてみませんか？

(健診室：佐佐木 美紀)



写真：武雄温泉春まつり（楼門周辺）

● 理念・基本方針

PHILOSOPHY AND BASIC POLICY

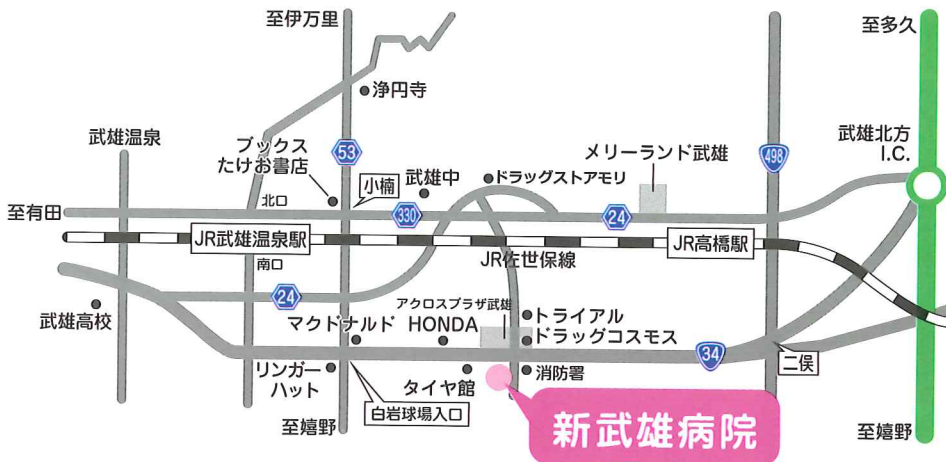
● 理念 「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」

● 基本方針

高度医療 | 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

チーム医療 | 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援まで、ニーズに沿った医療を提供します。

地域医療 | いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。



■ 診療科目

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科
外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科
呼吸器外科・泌尿器科・放射線科・麻酔科
リハビリテーション科・救急科・肛門外科

■ 診療時間

午前 9:00 ~ 12:00 (専門外来)
午後 2:00 ~ 5:00

※但し、急患の場合はいつでもただちに診察致します。

● 〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 ● E-mail info@shintakeo-hp.or.jp
● TEL 0954-23-3111 ● FAX 0954-23-0208 ● ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>